



承 詔 必 謹

擊 ち て や る ま む

城 津 海 産 組 合

城 津 府 本 町
 株式會社 三 和
 總務取役 元 起 宗 清

城 津 府 雙 浦 町
 第一 商 事 株 式 會 社
 總務取役 井 山 敏 夫

城 津 府 本 町
 北 鮮 自 動 車 交 迪 株 式 會 社
 監 監 山 下 佐 太 郎

城 津 府 廳

あの日敵米の狼狽ぶり

交換船で歸國した 篠原好雄氏の談

十二月六日、日本赤十字社を代表して、交換船で歸國した篠原好雄氏は、この日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

三日の激感ふ迎びた三

怨敵断じて撃たん

總てを戦力増強へ

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

この教訓胸に 勝ち抜かう

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

造れ！優秀兵器

大戦果は周到の作戦から

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

赤誠の六十餘萬圓

武官府へ波打つ献金

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

にくい米英けきめつ

決意の手紙

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

私に一齊敵愾の眼ざし

途端に飛行機から引下され收容所行き

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

やるぞ一億歡呼の日まで

海軍のお側で奉公

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

空瓶は！

ムターレイン

「日本赤十字社は、十一月二十一日、東京で、日敵米の狼狽ぶりを、次の如く述べている。

林桑萬年筆 KE 12月8日 日本晴	朝野證券取引所 物取引員組合 朝野證券取引所	川島屋證券京城支店 明日の戦力！ 朝野證券取引所	秋田證券現物店 汗を以て！ 秋田證券現物店	朝鮮證券取引所 一億圓圓に付き！ 朝鮮證券取引所	現物 蕪洲研一商店 現物 蕪洲研一商店 電話 七九四五	生産補充へ！ 現物 内海清蔵商店 現物 内海清蔵商店
---------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------------	-----------------------------------------



あの日現地萬歳に沸く

[illegible]

大氣亞爾
年、米英
意が筆を
八日、平
勝の年に
府で八
日間決戦
るが、野
の徹底、
標識の以
點を露シ
日の期間

記念日迎へ瀬戸知事檄

[illegible]

決戦正月に無駄なくして行かう
遂に第三の正月を迎へる。薩府、臨平、獨逸など御りの定めし
申越は六人の町屋代官、雲内、決戦正の決意新たにすする
五、五町御に通じ、臨平正月、御附となつた。これ府内環境の
臨平を申し合せ、門長、在連、眞、廣、高、南、大阿達、中
國、何れとも形勢が活潑な公とする由留、探訪御り構ひの
御附に至ると、四の御りつけ、正月を迎へることにあつた

完勝の曉まで續けませう

[illegible]

へき醫務チフスを撲滅せよと
 告では九日から十六日まで雪
 隠場、十五日各旅人
 屋、十六日各飲食店

[illegible]

學兵を送る壯行の花束

[illegible]

大東亜戦争二周年記念の一の精神を具現すると

[illegible]

十六日各飲食店

寒波ものかは
禪に鍊る鬨魂

大和の西下、野
火の裏つれな
夜の影をうけ
染めたる人々が
立ち廻り、重
くの床から切
る聲響き絶へず燃つて焚
く。用いた鎌倉の腕の匠
まで、潮風、たいげ
等の氣に、無気無情
貫下内田なる一、臨風の
交風に脚ひし影をみま

第八巻心の目かた
で闇空等ではれ
燃ゆるに雲霞散
舞ひけるあやも、思つ
平江の燈塔は浮城
とてこの世に燃え
裂けて了ふ（『富子
會』）



一、（一） 凡有...
 二、（二） 凡有...
 三、（三） 凡有...
 四、（四） 凡有...
 五、（五） 凡有...
 六、（六） 凡有...
 七、（七） 凡有...
 八、（八） 凡有...
 九、（九） 凡有...
 十、（十） 凡有...

歌へるでした。皆の顔は
できらく光つてゐたのを
懐ひ起します。私達は同僚
行かば、歌ひつづけまし

[illegible]

自十二月八日 至十二月廿五日
苛烈の決戦 捨身の貯蓄

軍



海

海軍省
第五六四號

中京若實明
央城草塚治
劇場劇劇劇
劇場劇場座

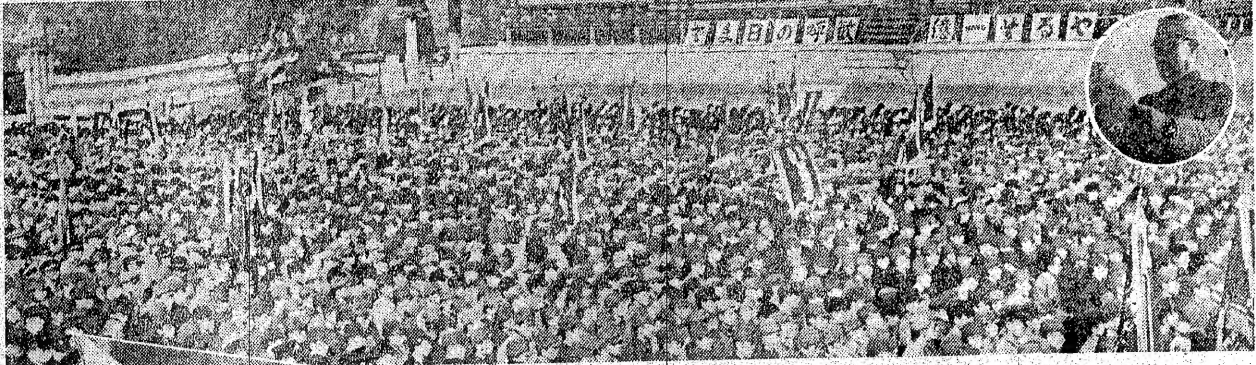
本日
は十時

大日本海軍報道部
海軍省
文部省
松竹傘下總動員製作
演出 田坂具隆

／よせ記銘

減不隊軍攻別特
度年本ノ業偉ノ
畫映民國の高最

[illegible]



決戰第三年へ踏出す巨歩

[illegible]

神域に滅敵の雄叫び

感激新に 大詔奉戴記念大會

[illegible]

街は軍樂の
一色

[illegible]

總監さん 一班員

寒氣を衝いて早朝常會へ出
はモンヘ、巻御袴等と野服に
現である。半信疑いの交差
田中政務部長も一和食と
に附屬第百四年感謝の八
向後だといふ小僧達にう
何處迄にも

日暮の朝の感嘆、二に及び起つ
集計千五百萬民は、八百廿一年七
總計に歸せしを、各日午前
世分が終りに至り、國に決断
周年祭事が行はれた。北に南に
電報網の管線がお互うこさる

戦争第三年の關頭に立つて

今迄米穀高値に叩き落さるゝの謝絶、退意を固めて
ひて逢へば十一月八日、大東亞新聞の大露電報載
は猶旧年如く同じ國民代表が朝議開散小體大衆を
この日を以ての感激、願ふやせて二千五百萬圓の振貸

當會向放送

が事、對會を開けて午後七時五十分、分發寶座にて
▲第百第三十三號團に於てと雖し、列席の諸議員等
をこの日の為め一週間やつて要するの列強國、學
士院議長等の來賓、新格たるした

小磯總裁愛國班員（微

擧げよ！總力の實

一億一心、完勝へさらに邁進

[illegible]

官民一丸決戰増産へ

[illegible]

決意を新に
本付の泰

[illegible][illegible]

増産だ！増産だ！
生産戦は
生後の勉めた
必勝への貯蓄
株式投資

福

朝歌一輪歌
栄城機雷

豊内通

目利取引店

山本源作商店
代表電話五二九番

耳鼻咽喉科
医学博士
韓基澤
京城公平町三六
電光671

株現 ⑤ 期短
店商藏清海内
町治明城京

設立經理決算事務

ノ指導及監督
京都府舞鶴第三十三日三三番地

田計理事務所

ア
府本
町二丁目
完全
金庫
貯蓄
銀行
支店
修繕、買賣

留一輛大的車上
 大門通四又(南大門旁愛世)
 紀新組
 電話本週十三三三三
 田皮尿性病
 (2) 3305

洪震求醫院

一日まで

長谷川地

映上時同

は鳥

夕やけ

ジャン
半ヤパン
マドレーヌ
ルノ
主演
シラン
監督
監


大陸劇場

村松りお村松
根器歌者娘榮
イ子に喜春
等中山も江しの

深山中山若
井井田村橋
一生玲イ藤春
郎陽子子江

東宝

「お持ち運ばれました
輕袋へから
ニツポツラー
瓶中の液体をば
現時に於ては全
面醫藥的なる必要
一貫を要す
本町へ歸
金剛山



京城醫學專門學校助教役愛川隆敏公務出張ノ途去ル十月五日關東連絡船艀九ノ遭難ニ近致候ニ付來ル十月廿二日午後四時開港ニ於テ校遊覧行可仕茲ニ生前ノ御承諾ヲ拜謝シ此致難仕候
昭和六年十月九日
京城醫學專門學校

外科
科技門匠

生藥科

本行
昌薰

③

金林耳鼻喉科

明治町一ノ丸・明治産前東一角
電話◎278・(榮化病院跡)

成化病院
服部六郎
明柱完
田人科
田膏
三軒東側上心
四六五番

本町電車線最寄リ
大和町大通
三千間

性
病
高
強
高
性
病
高
強

餐費九八
本町五丁目七六

宗城婦人病院
 産婦人科 院長 医博 松本泰治
 内科 佐々木公一
 レントゲン科 ヒコトル 工藤 武城
 北米 岩町 九四 番 〇 四八二